

1. 障がい者の生活ニーズ実態調査の分析について

平成 28 年度調査時の分析(クロス集計)	今回調査の該当質問
① 今の暮らし × 日頃楽しむ余暇活動	問 4、26
② 今の暮らし × 余暇活動をする上での困りごと	問 4、27
③ 日頃楽しむ余暇活動 × 余暇活動をする上での困りごと	問 26、27
④ 日頃楽しむ余暇活動 × 外出するときに困ること	問 26、10
⑤ ストレスの有無 × 日頃楽しむ余暇活動	問 25、26

(参考)平成 28 年度調査の分析結果
① 暮らしの状況と余暇活動との相関関係では、「家でゆっくり過ごす」と答えた人が最も多く、2 番目に「買い物や食事」が多かった。友達とグループで暮らす及び病院で暮らす人では「買い物や食事」の方が、「家でゆっくり過ごす」よりも多い回答となっているが、それ以外の暮らしの状況ではいずれも「家でゆっくり過ごす」が最多回答となっている。 ② 暮らしの状況と余暇活動をする上での困りごととの相関関係では、暮らしの状況に関わらず「金銭的な余裕がない」が最も多い回答であり、次いで、「一緒に楽しめる友人等が居ない」、「心身の状態が不安定になりやすい」の順に回答が多かった。 ③ 回答の多かった余暇活動(家でゆっくり過ごす、買い物や食事)と余暇活動をする上での困りごととの相関関係では、「金銭的な余裕がない」が最多回答であった。また、「家でゆっくりする人」は「買い物や食事」に出かける人に比べ、「心身の状態が不安定になりやすい」、「一緒に楽しめる友人等が居ない」と答えた人の割合が高い。 ④ 「買い物や食事」をする人が外出するときに困ることとして最も多かった回答は「特に困ることは無い」であったが、困ることとしては「通行車両が危ない」、「建物の設備が不便」、「困ったときに周囲の人の手助けが無い」の順に回答が多かった。 ⑤ 日頃の生活でストレスの有無と余暇活動との相関関係では、「家でゆっくりする人」及び「買い物や食事」に出かける人では、約 73%(2,405/3,303 人)がストレスが有ると回答しているのに対し、「映画・演劇や博物館・美術館などの鑑賞」、「スポーツ」、「レジャーや旅行」と回答している人では、約 32%(226/707 人)がストレスが無いと回答している。